

しょうがくせい みな
小学生の皆さんへ

かわりありませんか。今日は、皆さんに、小林聖心の音をお伝えしたいと思います。といっても、

校内は静まり返っているのですが、この春、私の心を和ませてくれている音、鳥のさえずりについて

お話しします。人間が新型コロナウイルスのことで心を騒がせているこの時も、鳥たちは春がきたこと

を喜び祝うかのように、いつもの年と変わらないさえずりで小林の丘を賑やかにしてくれています。

阪急小林駅から学校に上る道の右手一帯に広がるこんもりとした森。これは、町の中にながら、

たくさんの種類の鳥が暮らしている大切な森であるという話を、以前、「宝塚野鳥の会」の方から

伺ったことがあります。ホトギス、カッコウ、ツグミ、キビタキ、オオルリ、ハクセキレイ、キセキレイ、ジ

ョウビタキ、シジュウガラ、ウグイス、モズ、メジロ、コゲラ、フクロウ、キジなど、他にもまだまだたくさん、

ここに集まる鳥がいるそうです。皆さんは、この中でいくつぐらい知っていますか。そして、それぞれの

鳥の姿かたちとさえずりを見分けることができるでしょうか。

この春の私の発見は、フクロウです。ある夜、「ホー、ホー」と一定の間隔で鳴り響く低い音を聞き、

これは何かと耳をそばだてました。最初は何かの電子音が警報アラームかと思いましたが、よく聴いて

いるうちに、「フクロウだ!」と思いつきました。姿はまだ見たことがありませんが、あの日以来、朝

にも夕方にも「ホー、ホー」と鳴いているフクロウに、親しみを感じるようになりました。

「空の鳥をよく見なさい。種も時かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の

父は、鳥を養ってくださる。」(マタイによる福音書6:26) 今日、

学校では、様々な音色の楽しげなさえずりが聞こえてきます。不安の

中にある私たちのことを、心にかけて、養ってくださっている神様のこ

とを思って、一日を過ごせますように。

